



大地の実り

水戸市立下大野小学校
学校便り NO. 13
平成28年11月25日

アクティブ・ラーニングを推進する！

現在学校教育で進めている教育課程の理念は、これからの社会を生き抜く子どもたちに、社会や世界の変化に対応する力を育成することを前提とした「社会に開かれた教育課程」です。そこで、学び方の手法として注目されているのがアクティブ・ラーニング（主体的・対話的で深い学び）です。先生の話をもみんなが一斉に同じ方向を向いて聞き、画一的な知識を得る学び方ではなく、今日の学習のめあてに対して、子ども自身が課題解決の目的意識をもち、自分の生活経験や既得知識を使って友だちとコミュニケーションを取りながら学んでいくという学習方法です。子どもたちだれもが頭の中をアクティブ（活発に思考する）にして学んでいくことが大事になります。本校でも、今年度2回の算数科の授業研究を通して、アクティブ・ラーニングに向けた授業改善の方法を探ってきました。

11月16日（水）は第2回目のプロジェクト訪問指導で、水戸教育事務所から飯村高志指導主事、水戸市総合教育研究所から田村悟指導主事をお招きし、授業研究を行いました。今回授業を行ったのは2・3・4・6年生ですが、どのクラスも担任の先生の工夫した指導のもと、集中して学んでいました。そして、活発に意見交換をし、発表していました。自分の解き方を説明するうち、自分の間違いに気づく児童や、友だちの考え方を読み解こうとする児童の姿などが多く見られました。まさに主体的・対話的で深い学びができていました。先生方の積極的に授業改善に取り組もうとする姿勢や、それを受けて一生懸命取り組む児童の姿を、お二人の指導主事にたくさん褒めていただき、うれしく思いました。



読書の秋・・・本と親しもう！ ～読書感想文コンクール 優秀賞受賞作品紹介 その2～

茶畑のジャヤを読んで

5年 久野 真愛

私は、スリランカという国名は知っているけれど、どこにあるのか、何が有名かなどは分かりませんでした。そこで、スリランカについて調べることにしました。スリランカは南アジアにあり、日本と同じ島国で、インドの近くにあります。そして、「セイロン茶」という紅茶が有名です。スリランカでは、シンハラ人とタミル人が主な人種で、宗教は仏教徒ヒンデューが大部分を占めています。

この話では、主人公の周が優等生であるがために学校でいじめにあい、おじいちゃんとスリランカに行きます。そこでおじいちゃんの運転手役のセナとその娘のジャヤと出会います。そして、シンハラ人とタミル人の内戦の話の話を聞いたり、いろいろな体験をしたりして、周の考え方や見方、心が変わっていくというお話です。

私が1番心に残ったところは、内戦についてです。スリランカは昔、いろいろな国の植民地にされていた歴史がありました。その中で、イギリスがタミル人をひいきしたことで、シンハラ人が苦しい生活をするようになりました。150年後、イギリスから独立したとき、タミル人とシンハラ人の立場が逆

転してしまいました。立場が逆転したことによって、内戦が起きてしまいました。私は、内戦が26年も続いていたことにおどろきました。26年は私の年の倍の年月なので、とても長くてつらいと思いました。今現在、地球上の3分の1の地域では紛争が起こり、宗教のちがいから起こるテロが絶えません。なぜこんなに争いが多いのか、私には理解できません。

「人の気持ちが想像できる。ものごとの先が想像できる。たくさん想像できる人は、人を殺さない。悲しみが想像できるから」とセナは周に言います。人種や宗教がちがってもお互いのちがいをみとめ合えば、大変なことが乗り越えられることをセナは体験的に知っています。

でも、お互いをみとめるということは簡単ではないと思います。学校の友達にも色々な考えの友だちがいます。自分の考えと同じ子もいれば、ちがう子もいます。たまに意見がぶつかってケンカになることもあります。そんな時はセナの言葉を思い出し、相手の考えも聞き入れる、自分の考えも聞いてもらう。そこから、それまでとはちがう新しい考え方が出てくるかもしれません。たとえ、意見が平行線でも、けして無駄ではないのです。自分の世界が広がるのですから。

常澄中学校区駅伝大会 下大野小チーム快走!

大会スローガン

「風をきり 走りぬけよう 最後まで」

下大野小 大谷 姫菜 さん

11月20日(日)常澄中学校区駅伝大会が、第2回常澄トレーニングセンター向かいの田園を舞台に行われました。本校では、「走る」ことへの意欲を全校へ広げようと、今年度は男女2チームずつ参加しました。結果は男子下大野Aが5位、下大野Bが6位、女子下大野Aが7位、下大野Bが6位でした。個人では、5年荻谷碧衣さん、6年久野穂乃花さん、6年大和田歩夢さんが区間2位、6年一家葵さん、6年雲井乃愛さんが区間3位とがんばりました。先生方も参加し、川端先生、近藤先生、千葉先生、教頭先生、坂本先生でタスキをつなぎました。結果云々にかかわらず、青空のもと、本校大谷姫菜さんが応募して採用された大会スローガン「風をきり 走りぬけよう 最後まで」のとおり、中学生の先輩と共に、下大野の心をつなぐタスキリレーができました。気持ちの良い時間もてました。

代表メンバー

チーム	1区 1,000m 小4	2区 2,097m 中1	3区 1,597m 小5	4区 2,097m 中2	5区 1,597m 小6
女子A	吉川 愛実	金沢 真帆	荻谷 碧衣	菅原 琉宇	久野穂乃花
女子B	林 萌奈	庄司ひかる	久野 真愛	久野 澄佳	雲井 乃愛
男子A	吉川 怜佑	荻沼 航世	大和田拓夢	林 昇吾	大和田歩夢
男子B	久野 陸人	人見 隼斗	吉川 聖	須加野尚範	一家 葵



訂正のお願い

先日学校へようこそその時に配付した「下大野小学校のこれまで」の中で、常澄村が水戸市への合併した年が、平成3年とありますが(平成3年度の勘違いで)、平成4年になります。失礼いたしました。